

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【公表番号】特表2004-521662(P2004-521662A)

【公表日】平成16年7月22日(2004.7.22)

【年通号数】公開・登録公報2004-028

【出願番号】特願2001-583841(P2001-583841)

【国際特許分類】

A 6 1 B	1/00	(2006.01)
H 0 4 N	7/18	(2006.01)

【F I】

A 6 1 B	1/00	3 2 0 B
H 0 4 N	7/18	M
H 0 4 N	7/18	U

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月12日(2006.5.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 カプセルインビボカメラシステムの出力を表示するシステムであって、該システムが、

カプセルインビボ撮像装置から、イメージデータのフレームを受信する受信機と、少なくとも2つのフレームからイメージデータの類似性の程度を判定し、表示ユニットにイメージデータの類似性の程度に対応するレートでフレームを表示させるイメージプロセッサと、

を備える、システム。

【請求項2】 前記少なくとも2つのフレームが、連続するフレームである、請求項1に記載のシステム。

【請求項3】 前記少なくとも2つのフレームが、不連続のフレームである、請求項1に記載のシステム。

【請求項4】 プロセッサが、フレームを反復して表示する、請求項1に記載のシステム。

【請求項5】 プロセッサが、フレームの表示をなくする、請求項1に記載のシステム。

【請求項6】 カプセルインビボカメラシステムの出力を表示する方法であって、該方法が、

カプセルインビボ撮像装置から、イメージデータのフレームを受信することと、少なくとも2つのフレームからイメージデータの類似性の程度を判定し、イメージデータの類似性の程度に対応するレートでフレームを表示することと、を含む、方法。

【請求項7】 前記少なくとも2つのフレームが、連続するフレームである、請求項6に記載の方法。

【請求項8】 前記少なくとも2つのフレームが、不連続のフレームである、請求項6に記載の方法。

【請求項9】 フレームを反復して表示することを含む、請求項6に記載の方法。

【請求項 10】 フレームの表示をなくすることを含む、請求項 6 に記載の方法。